

競技上の注意・留意事項

1. 競技規則について

本大会は2017年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。また、競技種目対象年齢を考慮した教育的配慮のもとに進行する。

2. 競技場について

- ①トラック種目の競走路はアンツーカー(土)のため、スパイクシューズのピンは11本以内、長さ12mm以下とする。また、フィールド種目の助走路は全天候舗装のため、ピンは長さ9mm以下(走高跳は12mm以下)、先端の直径は4mm以内で、先のとがっていないものを使用すること。
- ②場内での練習は、バックストレート側(6～8レーン)を利用できるが、競技に支障がでないよう役員の指示に従い事故防止に努めること。
- ③テント・シートの設置(応援・待機)は、大会本部テント側後方および、100m走レーン延長線上を除く芝・植え込み部分のみとする。
- ④原則として(主催者特例を除く)、競技役員ならびに当該種目出場競技者以外、競技場内(黄色テープ内)への立ち入りを禁止する。

3. 招集について

- ①招集所の設置について、トラック種目は掲揚塔前、フィールド種目は競技開始場所とする。
- ②招集所では、プログラム記載の招集完了時刻までに、ナンバーカード、シューズ、スパイクピンなどの検査を受けなければならない。なお、招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものと処理する。

4. 競技について

- ①イエロー(警告)・レッド(失格)カードの適応について、音声その他の方法で、他の競技者を妨害するなどの競技者にあるまじき行為・下品な行為や助力などの禁止行為があった場合、審判長より失格が告げられ、以後の記録および競技が無効となる場合がある。
- ②助力について、競技エリア内では一切禁止とし、応援席からの助言は指定区域(コーチングボックス)のみ許可される(競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認める)。なお、助力者ならびに競技者が、競技役員の注意・指示に従わない場合、当該競技者が失格となり、他の競技へ参加ができなくなる場合がある。
- ③トラック種目の判定はVTRを使用する場合がある。
- ④不正スタートがあった場合、すべての当該競技者(一度に複数名の場合あり)が失格となる(小学生は2回目以降失格)。
- ⑤トラック種目のスタート方法は次の通りとする。
ア、80mから400m(リレー)までの種目は、**スターティングブロック**を使用したクラウチング姿勢からのスタートとするが、小学1・2年生のみスタンディング姿勢も認める。
イ、上記以外、スタンディング姿勢からスタートしオープンレーンとなるが、800mはブレイクポイントまでセパレートレーンを走行後オープンレーンとなる。
- ⑥80mハードルは、障害の高さ約70cm、数9台、スタートから第1障害まで13m、障害間7m、最終障害からフィニッシュラインまで11mで行う。
- ⑦リレー種目のオーダー用紙は、各ラウンドで**2部記入作成し、12時まで大会本部へ提出**すること。
- ⑧リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいても本競技会のリレーまたは他の種目に申し込んである競技者であれば出場することができるが、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人は、当該リレー種目に申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して2人以内に限り他の競技者と交代できる。
- ⑨フィールド種目では、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に2か所までとする。
- ⑩走高跳の開始は、小学生・男女1m00、中学生以上・女1m10、同・男1m20とし、5cmずつ上げる。また、小学生の跳び方は、はさみ跳び(足裏から両脚がマットに着地)を原則とし、背面跳びやベリーロール(背中や腰からの着地)は無効試技とする。
- ⑪競技者が、トラック種目とフィールド種目に同時に参加する場合、フィールド競技の試技はパス扱いとする(4・5回目を除く)。
- ⑫トラック種目の予選は、プログラム記載の各組上位者と全体の記録上位者が決勝へ進出する。フィールド種目は3回試技の後、上位8人でさらに3回の試技を行うが、ジャベリックボール投(助走15m以内)は、3回の試技のみとする。
- ⑬ジャベリックスローならびにジャベリックボール投のルールはやり投に準じ、20m以下は計測されない。

5. ナンバーカードについて

- ①ナンバーカードは主催者が用意したものをユニフォームの胸部のみにつけること。また、終了後に返却が必要なため、折り曲げたり、汚したりしないこと。未返却や破損は、補充費用(108円)の実費負担となり、その対応確認が無い場合、次大会参加ができない。
- ②宮城陸上競技協会(中・高体連、一般)登録者は、その番号を使用し各自で用意すること。
- ③トラック種目出場者は、着順判定用の腰ナンバー標識を使用することがある。この場合、スタート前に出発係から受け取り、パンツ(タイツやショーツを含む)の右後方につけ、レース終了時に返却する。

6. 競技用具などについて

- ①競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。
- ②競技者は当該競技エリア内で、携帯電話・映像機器・音声再生機器などを使用してはならない。
- ③砲丸投以外でのスパイクシューズ使用は任意であるが、すべての種目における裸足での競技参加は危険防止のため認めない。

7. 抗議について

競技中におきた競技者の結果または行為に関する抗議は、その結果が発表されてから30分以内(次のラウンドが行われる種目では15分以内)に、審判長に対して口頭でなされなければならない。その際、抗議者は競技者受付所を通して抗議担当者(ジュリー)に申し出ること。

8. 表彰について

賞状は各種目、小学生6位まで、中学生・高校一般は3位までの入賞者に、また、メダルは小学生・中学生3位まで、高校一般は1位に授与するが(ただしルー種目や、参加競技者数が少ないなどにより、例外もある)。

なお、表彰式は運営の都合上メダル授与のみでおこない、賞状は後日、所属団体へ一括届けとなります。個人届け先を希望の場合は有料となります。

9. その他

①本大会の該当種目は、「第7回みやぎ地域対抗駅伝大会」の白石刈田代表選手選考を兼ねます。

②大会中に競技場で発生した傷害や疾病について、主催者は大会本部内で応急処置を行い、傷害保険の範囲内で保障しますが、その他、事故などはその責任を負いません。

③置き引き(貴重品や自転車など)対策、準備運動を含めた体調管理は、各自十分に行ってください。

④個人情報の取り扱いについて

ア、本大会に関して知れた個人情報は、本大会関係の目的以外に使用することはありません。

イ、参加申込書の提出により、個人情報の取り扱いに承諾を得たものとみなし、氏名・学校・学年・記録を掲示板に掲載し、本大会が認めた報道機関や主催者ホームページに公表することがあります。

ウ、本大会が認めた報道機関や主催者が撮影した写真が、新聞・広報誌・大会報告書・ホームページなどに公開されることがあります。

⑤本大会の記録は、白石市陸上競技協会・年間優秀選手賞「細田章」の選考対象です。

⑥記録証は各自で記入してください。再発行はできません。

⑦ゴミは各自・各団体の責任で必ず持ち帰りください。

⑧路上駐車は禁止です。必ず、緑地公園内駐車場または近隣の公共駐車場をご利用ください。

⑨ナンバーカードは白石市陸上協会からの貸出です。競技会終了後、必ず学校ごと取りまとめ返却してください。

⑩レンタルスパイクは、個人の責任で、競技会終了までに返却してください。未返却や破損は、補充費用(適価)の実費負担となり、その対応確認が無い場合、次大会参加ができない。

10. 保護者各位

本大会は、各小学校・所属団体に申し込み取りまとめを依頼しておりますが、申込み後の対応および結果に関する問合せ、体調管理、ケガ・事故防止などにつきましては、保護者責任の上、お願いします。